

梅雨空の中、アジサイ、クチナシの花をあちこちで見かけられます。5月は不順天候で雨空が多く、晴天になれば強い日差しで猛暑日となりました。そんな日々、農園体験の実習に学生達が臨み、慣れない畑作業に取り組みました。梅雨入りして空模様の定まらない中でも学生達は自分で植えたサツマイモなどの様子を見つめながら畑の管理に取り組んでいます。ひとえに秋の収穫に期待を寄せて。



タマネギが収穫期を迎え、学生達に抜いて持ち帰ってもらっています。取れたてのタマネギ、「どんなものですか」と聞くと、新タマネギと答えます。2品種を作付け、それぞれを収穫し、外観や味の差を実感してもらっています。食べ比べた結果を尋ねると写真の左側が甘かったとの答えがほとんどでした。



ルバーブ。

見た目はフキのようですがタデ科で、キク科のフキの仲間ではありません。葉には有毒成分があり、物質が特定されていないものあるとのことです。

葉柄をジャムなど、また塩漬けにしてピクルス風にサラダなどに添えて味わえます。

実習に来た学生が持ち帰ります。ジャムやタルトにして味わったと聞いています。ほろ酸っぱい味が好評です。



朝露の残る畑で、きらきらとしているものがありました。クモの巣です。

クモはいろいろな種類がいます。地表に巣を張るもの、凧のように糸を使って空高く舞うものなど、日頃、目にするのが少ないものもあります。畑の表面に張られた蜘蛛の巣に朝露つき、日差しの中輝いていました。

畑には様々な発見があります。

